

第4回 多摩市文化芸術推進委員会

日 時：令和8年8月18日(火)18:30～

場 所：多摩市永山公民館 ベルブホール

多摩市文化・生涯学習推進課

次 第

- 次第 1 前回会議の振り返り
- 次第 2 モニタリングシート内容の確認（報告）
- 次第 3 中間支援機能の具体的施策案の検討
- 次第 4 今後のスケジュール

次第 1 前回会議の振り返り

10分目安

【参考資料 1】 第 3 回多摩市文化芸術推進委員会議事録（案）

次第 2 モニタリングシート内容の確認（報告）

25分目安

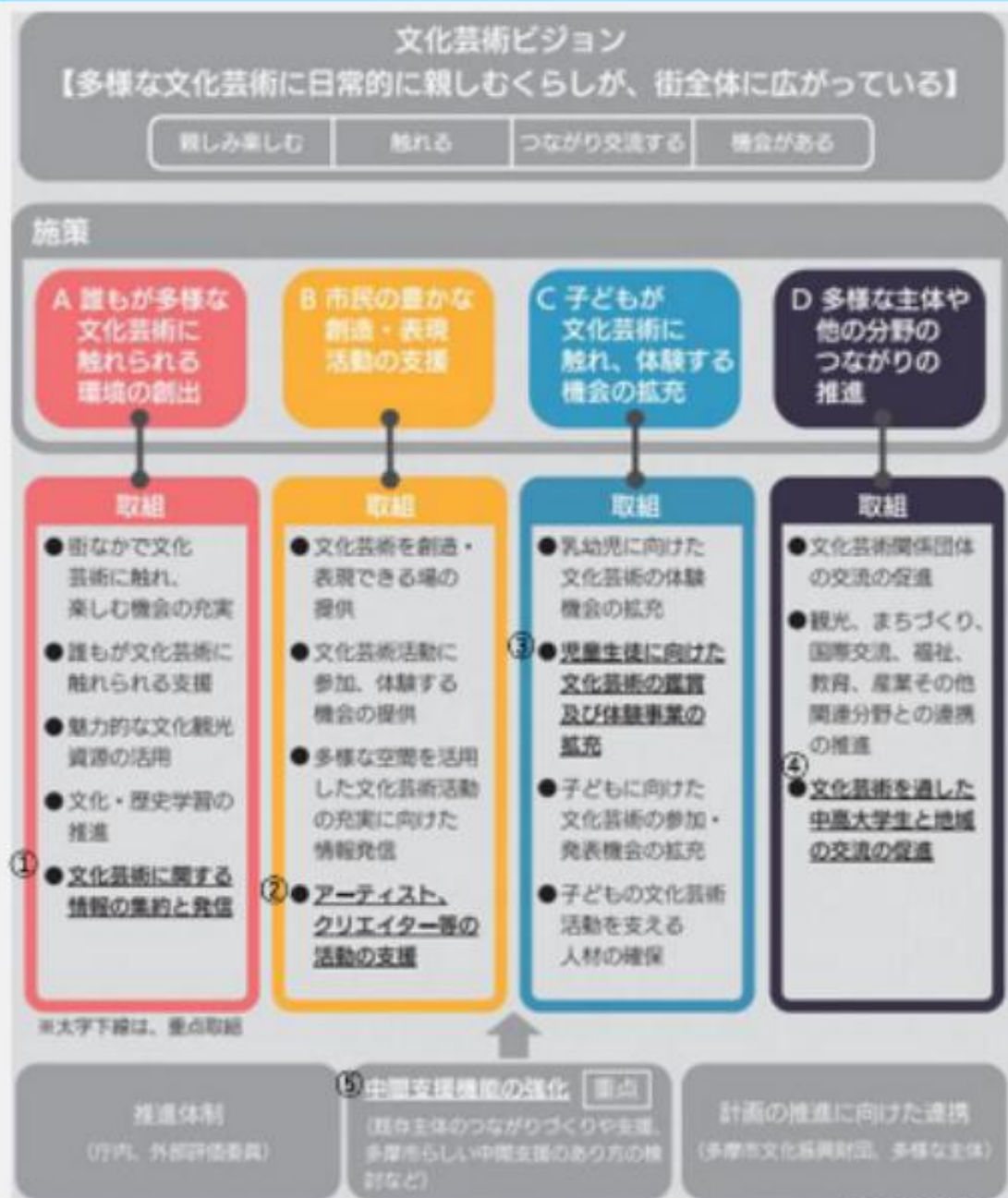
【参考資料 2】 多摩市みんなの文化芸術振興プラン2025モニタリングシート（案）

■ モニタリングシート

- 第 1 回・第2回文化芸術推進委員会で項目を議論し、シート確定
- 今般、庁内各課が所管事業について結果を記載

【参考資料 3】 多摩市みんなの文化芸術振興プラン2025モニタリングシート（まとめ版）（案）

3 文化芸術の推進と評価に関するポイント整理



ア 中間支援機能を強化することで重点取組を始めとした取組を推進していく

イ 中間支援機能の強化を含む重点取組の進行管理を実施

ウ 既存の取組状況をモニタリングシートで確認。計画で定めた指標の数値推移の状況を確認。

エ 中間支援の強化と重点取組の推進が、市の取組や指標数値にどう貢献したかを評価

みんなの文化芸術振興プラン2025 モニタリング結果に関する分析結果

	令和7年度の実績・成果	今後の課題・方向性 令和8年度以降の計画
施策A 誰もが多様な文化芸術に触れられる環境の創出	● 多摩中央公園のリニューアルや駅前・広場空間を活用したイベントが活発に実施され、夏まつり、イルミネーション、TAMATAMA FESTIVAL等で非常に多くの来場者を集めた。様々な場所で文化芸術が日常的に触れられる機会が地域に定着し、新たな機会も生まれた。	◆ 多くの事業が「現状維持」である。今後は、量的拡大よりも質的向上が課題である。 ◆ 各イベントの参加者数は把握されているが、初参加者や継続参加者、満足度などの効果は不明であり、質的な分析が困難であり、どう評価するかが課題である。 ◆ 文化芸術推進委員会での検討結果を活用しながら情報発信を強化し、市内の文化情報を一元的に届ける体制づくりを進める
施策B 市民の豊かな創造・表現活動の支援	● パルテノン多摩、公民館、コミュニティセンター、KITAKAIさんぽ館などの施設が文化活動の拠点として活用され、多くの利用者や団体活動を支えた。 ● 「地域デビュー手引書」等によって、使用できる施設の紹介、活動団体の紹介を行い市民が活動を始めやすい環境を整備した。また、体験事業や生涯学習講座を通じて創作。表現活動への入口を確保した。	◆ 引き続き、既存施設の有効活用や、イベント・文化活動、施設紹介等の取組を実施。 ◆ アーティストやクリエイター支援については検討開始段階に留まっていることから、活動支援策やネットワーク形成支援等を具体化していくことが求められる。
施策C 子どもが文化芸術に触れ、体験する機会の拡充	● 乳幼児から中学生まで幅広い年代を対象とした取組を展開し、学校・児童館・文化施設・保育園等において文化芸術体験を提供した。	◆ 体験機会を引き続き提供しつつ、学校・地域・文化団体等が連携し、体験機会から継続的な活動参加へつなげる仕組みづくりが必要。 ◆ 部活動地域展開や放課後子ども教室への地域人材の参画促進により、文化芸術を支える地域基盤の整備を進める。
施策D 多様な主体や他の分野のつながりの推進	● 多摩市民文化祭を通じて、文化芸術関係団体の交流を促した。 ● パルテノン多摩を中心に教育、観光、まちづくり分野との連携を進めた。 ● 協創の側面から中間支援の取組が進み、文化芸術分野を含め多様な主体を結び付ける取組が実践された。	◆ 計画で例示された懇談会等の取組は未実施であり、分野横断的なネットワーク形成はまだ発展途上である。 ◆ 多摩市民文化祭やTAMATAMAFESTIVALを中心に、高校、大学、企業等との協働を進める。 ◆ 文化芸術推進委員会や中間支援組織を核として、団体間交流や異分野連携、多様な主体との連携をさらに促進する。

【参考資料 4】 多摩市文化芸術_中間支援プラットフォーム構想案20260514

【参考資料 5】 中間支援機能を持つ団体の認定・登録制度の骨子

みんなの文化芸術振興プラン2025 における財団・文団連の位置づけ

	プラン内の位置	内 容
財団	Ⅵ 2 （1） 多摩市文化人口財団との連携	● 計画の推進にあたっては、<u>市の文化振興を担うために設立された多摩市文化振興財団や、～（中略）～と連携・協働して取り組みます。</u> ● 財団は、<u>多摩市における文化芸術の振興のための事業や自主的な文化活動への支援を行い、市民のふるさと意識を育てる事業を通じて、（略）</u> ● <u>地域イベント等に市民文化団体や地域のアーティストが活躍機会を広げるためには、財団がコーディネート機能を担い、鑑賞者と担い手をつなぐ、中間支援の取組が求められます。</u>
文団連	Ⅱ 4 （2） 市民各所における文化活動の状況 Ⅴ 施策と取組 施策D 多様な主体や他の分野のつながりの推進	● （略）～ <u>20以上の市民文化団体で構成する多摩市文化団体連合を中心に、約50年の間、「多摩市民文化祭」が、毎年秋に行われているほか、（略）</u> ● 文化芸術関係団体の交流の促進 <u>多摩市文化団体連合等の中間支援機能を担う団体と連携しながら、「多摩市民文化祭」等を通じて、文化芸術関係団体の交流を促進します。</u>

次第 4 今後のスケジュール

5分目安

	2026年度				2027年度
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
	第1期				第2期
文化芸術推進委員会（有識者）	● 【第3回】 ・ 団体ヒアリング結果 ・ 中間支援機能のあり方検討（補助の内容）	● 8/18【第4回】 ・ モニタリングシート内容の確認 ・ 中間支援機能の具体的施策案の検討	● 10/下旬【第5回】 ・ 中間支援機能の具体的施策案の具体化（提言内容の協議） ・ 次期委員会での検討課題協議	● 1/中旬【第6回】 ・ 提言内容（中間支援機能の具体的施策案）の協議・決定 ・ 次期委員会での検討課題確認	● 未定【第1回】 ・ 前期答内容および検討課題の共有 ・ 第2期の進め方について協議
文化・生涯学習推進本部専門委員会		● 7/下旬 ・ モニタリングシートとりまとめ	● 11/上旬 ・ 中間支援機能の具体的施策案の進捗共有	● 1/中下旬 ・ 中間支援機能の具体的施策案（提言内容）の進捗共有	
文化・生涯学習推進本部		● 8/26 ・ モニタリングシート結果の協議・決定 ・ 委員会による重点取組検討状況の報告	● 11/16 ・ 中間支援機能の具体的施策案の進捗共有	● 2/2 ・ 中間支援機能の具体的施策案（提言内容）の進捗共有	
事務局	● 中間支援機関ヒアリング	● R7取組状況をモニタリングシートにより各課照会	● 評価結果を全庁フィードバック・議会共有		● R8取組状況をモニタリングシートにより各課照会